

令和4年度版

# 連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

(分野別)

## 中高連携教育編

### 回答者数

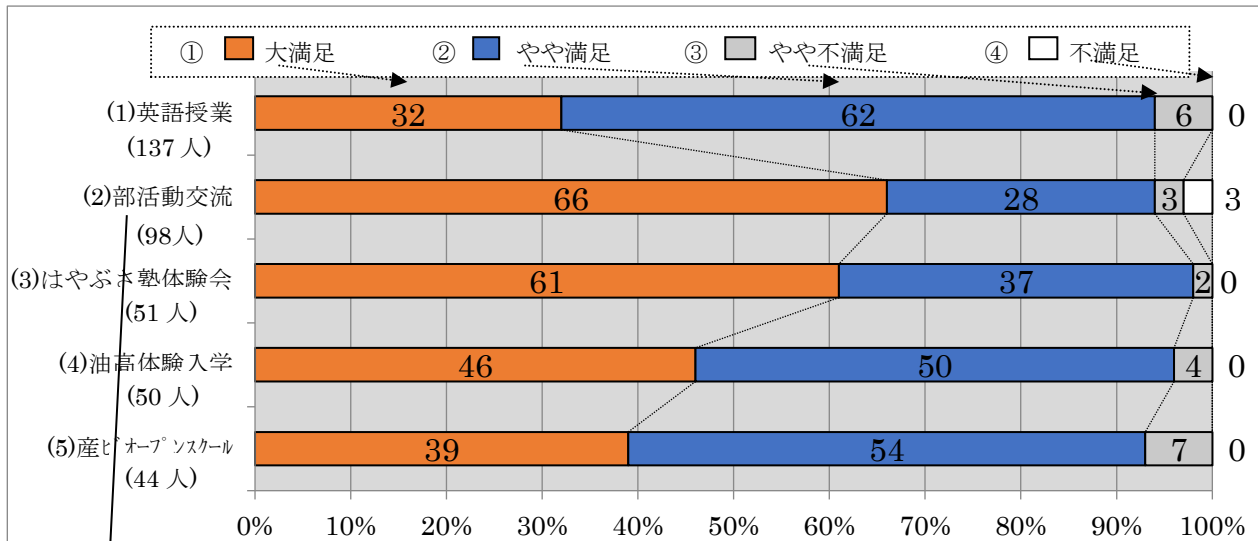
1. 中学生	回答者数 <u>153人</u> / 在籍者数 163人
2. 高校生	回答者数 <u>144人</u> / 在籍者数 167人
3. 中・高教職員	回答者数 <u>56人</u> / 全教職員数 56人
4. 小学校保護者	回答者数 <u>134人</u> / 対象児童数 163人
5. 中学校保護者	回答者数 <u>136人</u> / 生徒総数 163人
6. 地域	回答者数 <u>81人</u> / 質問者数 101人

神石高原町教育委員会

<連携教育についてどう思いますか？>

● 中学生

問 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したことがある人は、下の該当する項目について、その感想を教えてください。



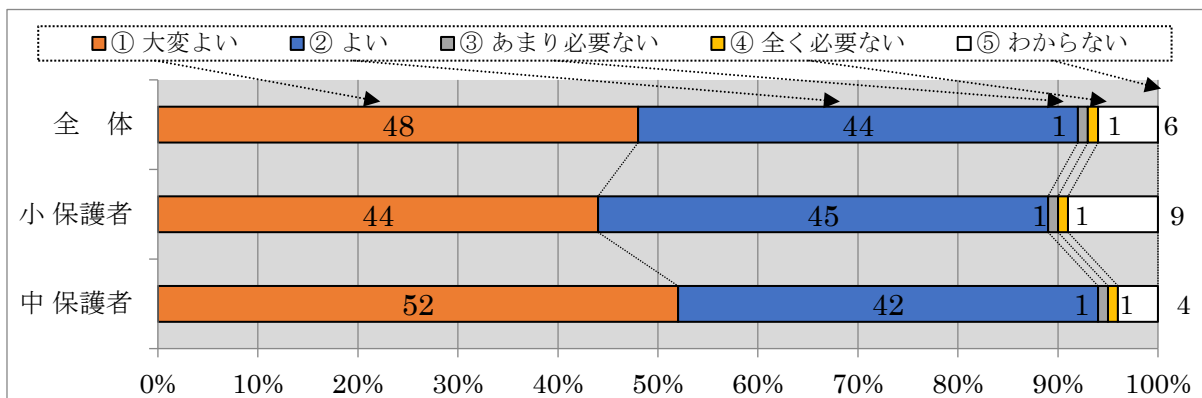
<部活動交流>

卓球（三中：6人+神中：13人）、バレー（12+11）、ソフトテニス（6+11）、野球（3+1）、陸上（7+0）、吹奏楽部（7+7）、美術部（1+1）、剣道（5+0）

考察 全ての項目において生徒の受け止めは肯定的評価「大満足・やや満足」が90%以上を占め、大変高い評価である。その中で、交流授業で実施している英語の「大満足」度は一番低く、中高教職員のアンケート調査においても教育効果はあまり感じておられないようである。（「大変効果がある」中学：30%、高校：19%）この交流授業は連携型中高一貫教育校では欠かせない実践項目だけに、今後、町研教科部会等で授業交流・授業研究などしながら有効策を追究していく必要があると思われる。

● 小・中保護者

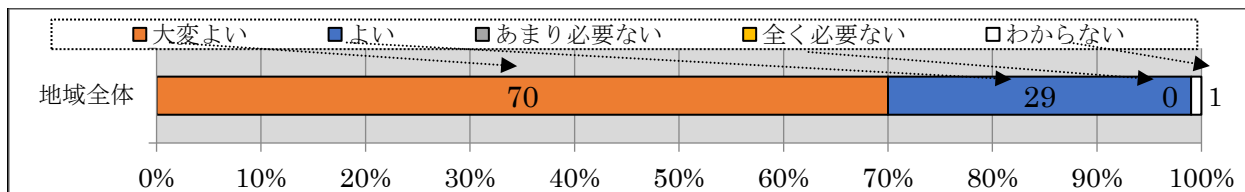
問 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



考察 全体としては「大変よい・よい」とする肯定的回答92%（昨年85%）と非常に高い評価である。一方、「わからない」とする数値も6%（昨年13%）と前年よりかなり低くなっている。しかし、今後も関係保護者への情報提供は、広報紙『中高一貫教育ジャーナル 高原の風』で連携教育の取組みを紹介したり、ケーブルテレビの活用（次世代議会など）を図って、一層の情報提供に努めていかなければならない。

## ● 地域

問 現在、油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



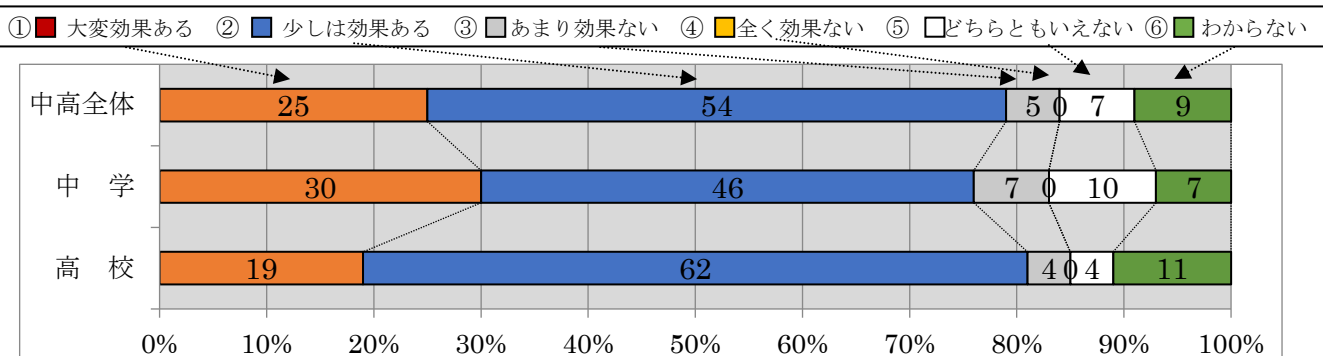
考察 地域のほとんどの方々（99%）は、中高連携教育を「大変よい・よい」とする肯定的回答で、「必要ない」との否定的回答は0%であったが、今後更なる中身の充実を図り、情報提供していく必要がある。

## ● 教職員

問 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

(1) 定例的な交流授業

（高→中：英語、中→高：音楽・英語）について、どう思われていますか。

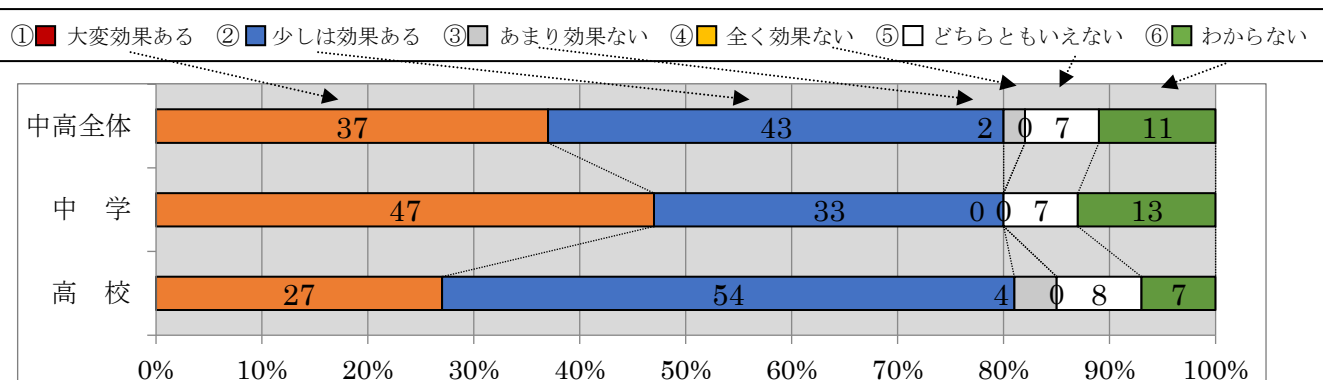


<推進上の課題>

（中）・中学校での学習が高校でどのように繋がっていくかを生の声で伝えてもらえる ・兼務の先生の本務校での生徒との関りが希薄になるのでは ・スケジュールの連絡が不十分で困ることが多々あります ・交流の時間、本務校にいられない / ・単発で授業を行うので若干難しさがある ・両校の英語教員の負担が増えるだけのように見える ・日程調整

（高）・難しいとは思うが、様々な教科で行うことができれば、より効果があると思う ・もっと中高の特色を出して授業展開が出来れば良いと思います ・勤務校での授業が少なくなる点 ・他教科への拡大（年1回でもよいので） ・高校でも知っている先生がおられるのは安心感があって良いと思う

(2) 部活動交流について、どう思われていますか。

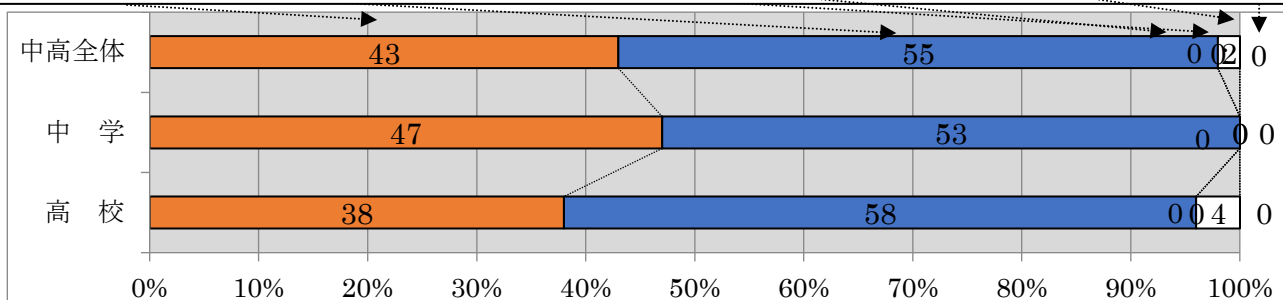


<推進上の課題>

(中)・技術面で身近な先輩から指導してもらえる / ・日程調整が難しい ・移動手段 ・今後、部活動の地域移行に伴って、交流の在り方を再考していく必要がある ・交流しているのは、吹奏楽とバレーだけでは？  
 (高)・さらに交流を促進させる必要があると思います ・今後も継続すると良いと思います ・移動手段  
 ・回数が年1回程度なので2~3回に増加させたい

(3) 学校行事（オープンスクール・学習成果発表会など）への参加について、どう思われていますか。

①■ 大変効果ある ②■ 少しは効果ある ③■ あまり効果ない ④■ 全く効果ない ⑤□ どちらともいえない ⑥■ わからない

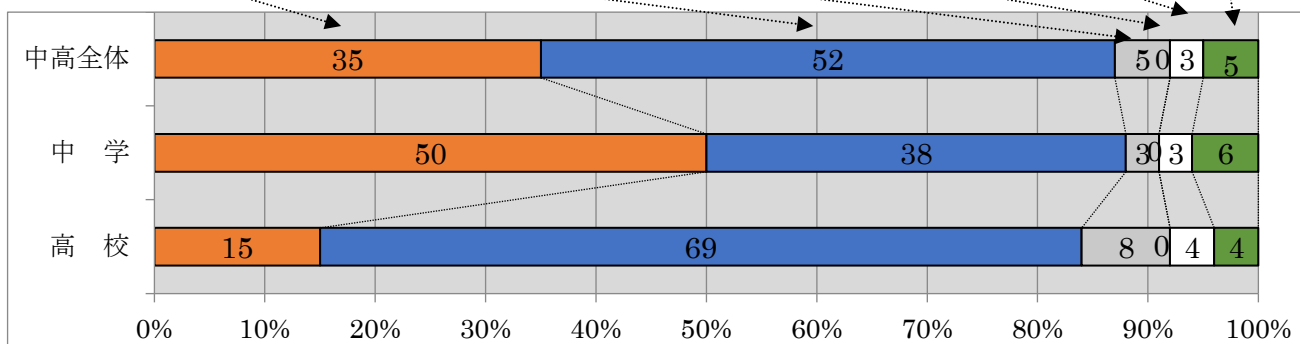


<推進上の課題>

(中)・日程調整 (高)・移動手段、日程、時間の調整 ・試験日程、三者懇談の日程、高校に学園祭などオープンスクールの日程に行事が集中していること、業務が集中することが課題

(4) 教職員の交流（教科部会・教科外部会など）について、どう思われていますか。

①■ 大変効果ある ②■ 少しは効果ある ③■ あまり効果ない ④■ 全く効果ない ⑤□ どちらともいえない ⑥■ わからない



<推進上の課題>

(中)・日程調整 (高)・授業交流までできれば効果がよく見えると思う ・花壇の植栽などが単発的な行事から事前・事後までできると良いと思う

**考察** ・中高全体では、多くの項目が「①大変効果がある、②少しは効果がある」とする肯定的回答が80%以上ある。中でも、「学校行事への参加」は98%の高い肯定的評価である。一方、肯定的評価が80%以下は「交流授業」で、特に中学校の方が評価が低い。その原因はどこにあるのか、そしてその解決のためにはどんな策があるかなどについて町研教科部会等で検討していく必要がある。

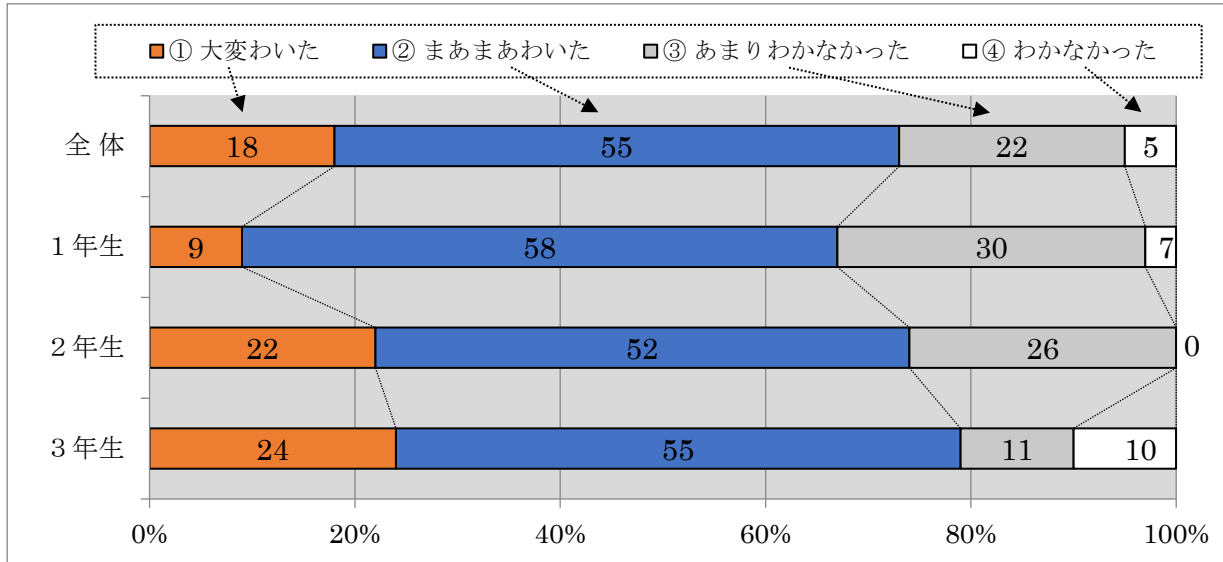
・本年度も各質問項目に関わる「推進上の課題」等をいろいろあげて頂いているので、いずれも教育内容に関わるものだけに、一つ一つ中高一貫教育推進委員会を中心として、校長会や事務局会等で検討し、今後の方向性を出していく必要がある。また、教科に関わっては町研教科部会などでも話し合ってみる必要がある。

＜油木高校生の「総合的な探究の時間」の取組状況について＞

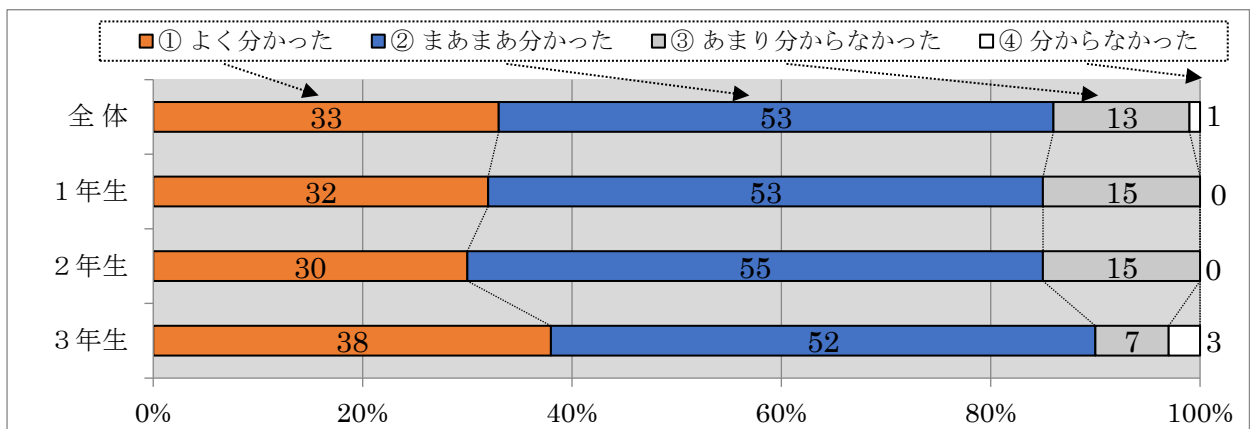
● 高校生

問 本年度の「総合的な探究の時間」について質問します。（\*普通科の1～3年生のみ教えてください。）

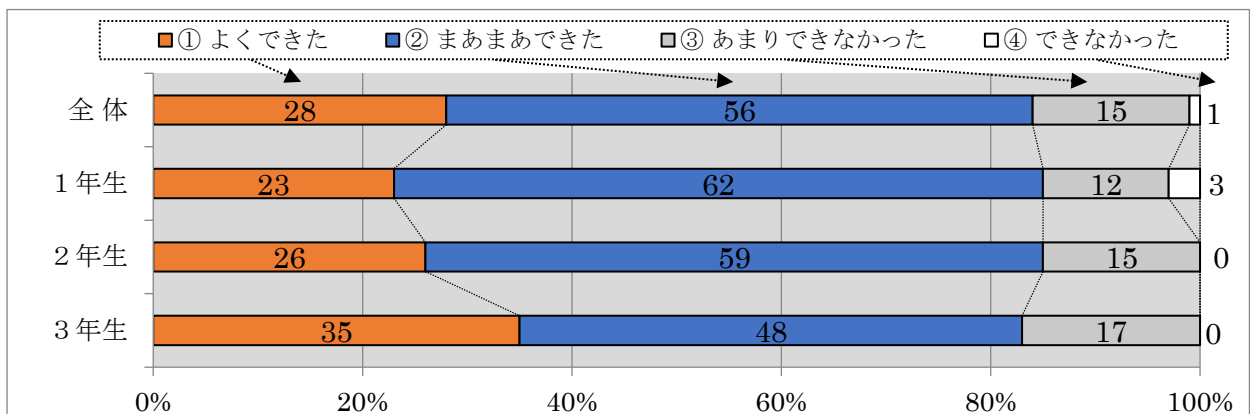
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。（興味・関心・意欲）



(2) 授業内容は分かりましたか。（理解度）



(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。（態度・活動面）



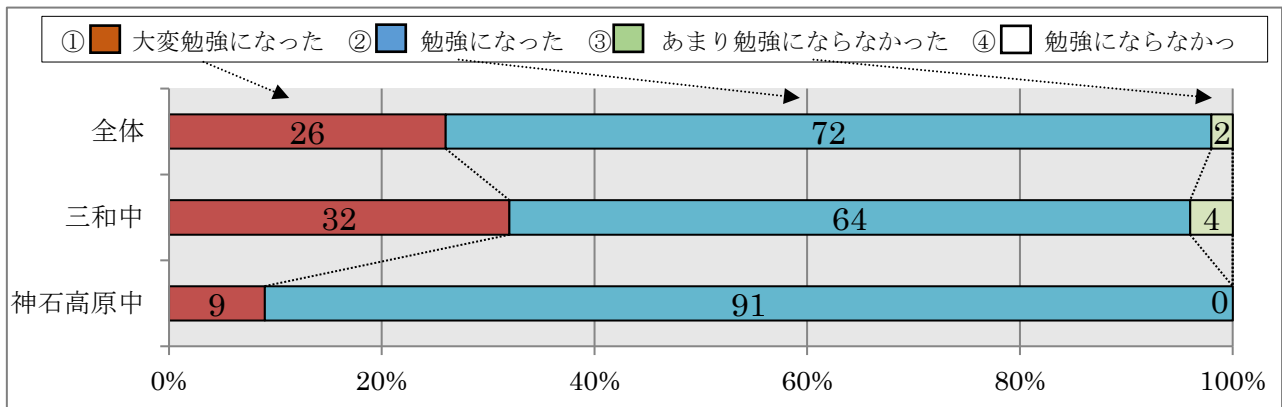
**考察** ・どの項目も 70%以上の高い肯定的自己評価をしている。そして、3 年生がどの項目も「よくできた」と回答した生徒が一番多かった。

・このように生徒自身が高い評価をしているのは、各学年の総合担当の先生やキャリア教育コーディネーター(元地域興し協力隊員)のこれまでの経験知からの指導や(株)プリマベンギーノの適切なアドバイスのお陰であると感じている。

<油木高校の学習成果発表会についてどう思いましたか？>

● 中学生

**問** 本年度 12 月 15 日に油木高校が実施された「総合的な探究の時間」等の学習成果発表会に参加した生徒で、高校生の発表を聞いてどのように感じましたか。



**考察** ・ほとんどの生徒が「大変勉強になった・勉強になった」との肯定的評価をしている。ただ、「大変勉強になった」率はあまり高くはなかった。

・参加した中学生にとっては、今後の学習に役立つものと思われる。そして、油木高校の普通科そして産業ビジネス科の学習内容も少しは理解できたのではないかとと思われる。

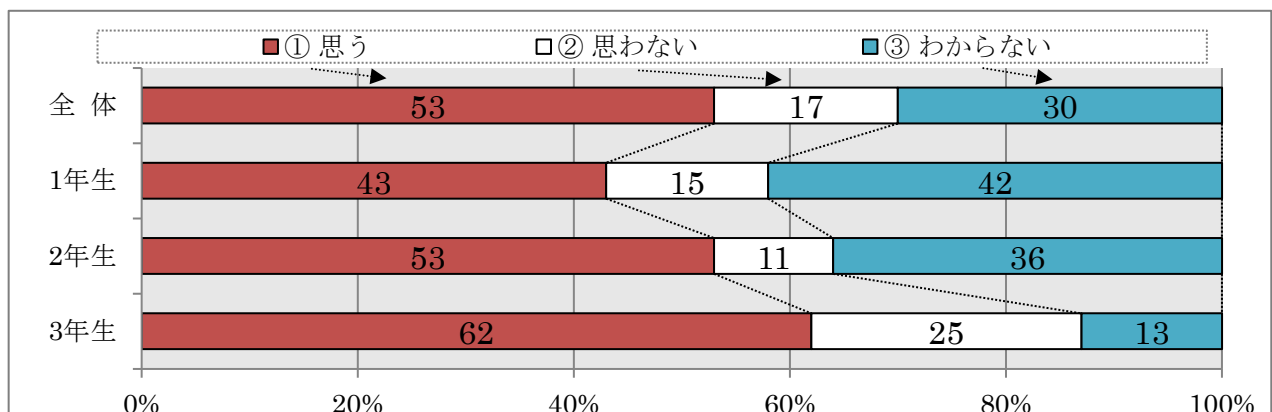
・「総合的な学習（探究）の時間」は中高連携教育の軸となっているので、小学校を含めた小・中・高が共に研究しながら、今後一層中身の充実を図っていく必要がある。本年度の町研総合部会では、小・中・高の 12 年間に視野に入れたカリキュラム作りについて(株)プリマベンギーノにご指導いただきながら研修していくことができた。

<中高一貫教育&油木高校魅力アップ事業に係る総合的な成果指標について>

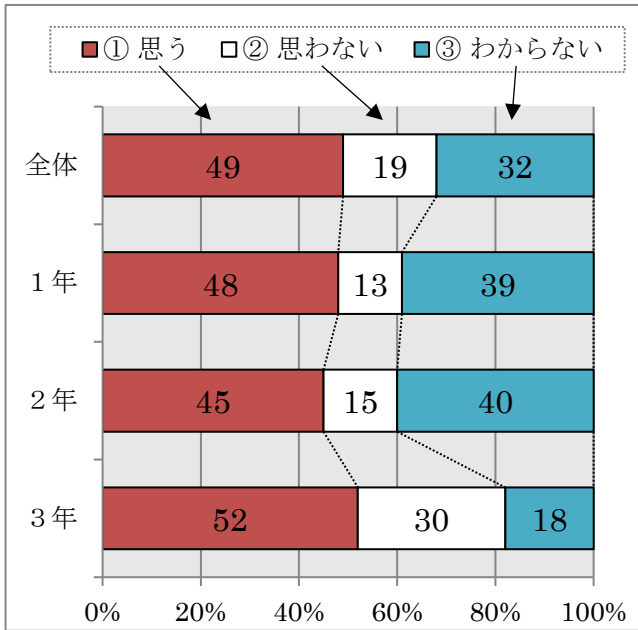
● 中学生

**問** (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

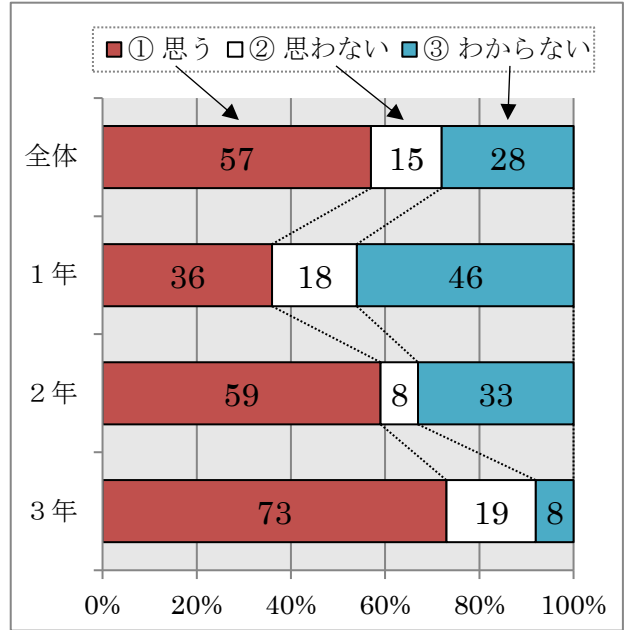
< 2校全体では >



< 三 和 中 >



< 神 石 高 原 中 >



**考察** ・2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は53%（前年55%、前々年46%）で、昨年に引き続き50%以上である。今後生徒数が減少傾向にあるだけに50%以上を確保していく必要がある。

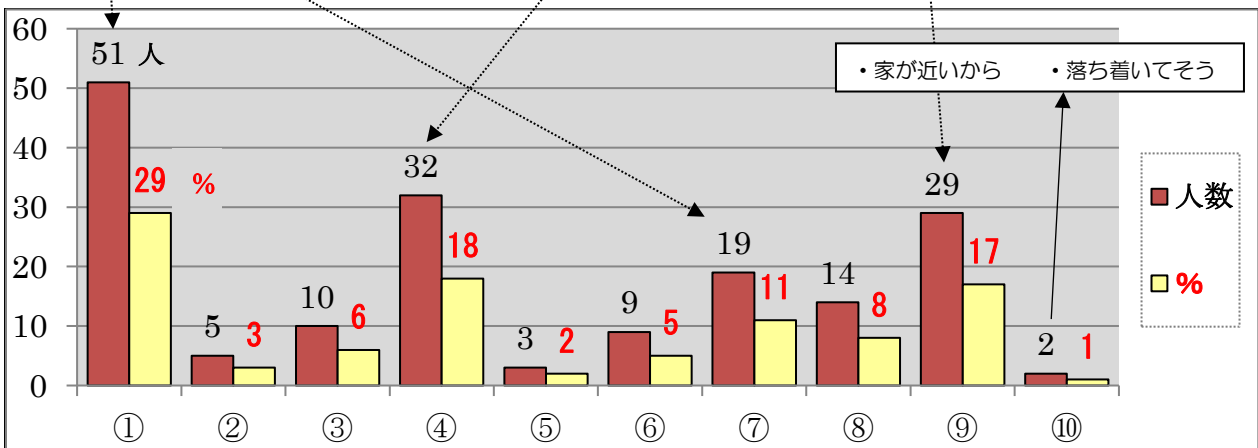
・全体の学年別でも、3年生の「思う」が62%で一番高く（R3年66%、R2年61%、R1年61%）、一つの目標数値である60%以上をクリアが続いている。また、経年比較では（昨年度の1年生49%→本年度の2年生53%、昨年度の2年生48%→本年度の3年生62%）というように年々増加傾向になっていました。これは、学校現場の取組みと地域あげでの取組みの成果なり効果が伺われる。

・学校別においても、両校とも「油木高校に進学したいと思う」率は3年生が一番高く50%以上を占めている。このことは、連携型中高一貫教育校として維持していく為には大変重要なことで、今後もこの数値（50%以上で60%を目指す）はこだわっていく必要がある。

(2) 3(1)の質問で「①（油木高校へ進学したいと）思う」と答えた人で、その理由とと思うものを下の□の中から選んでください。（複数回答可）

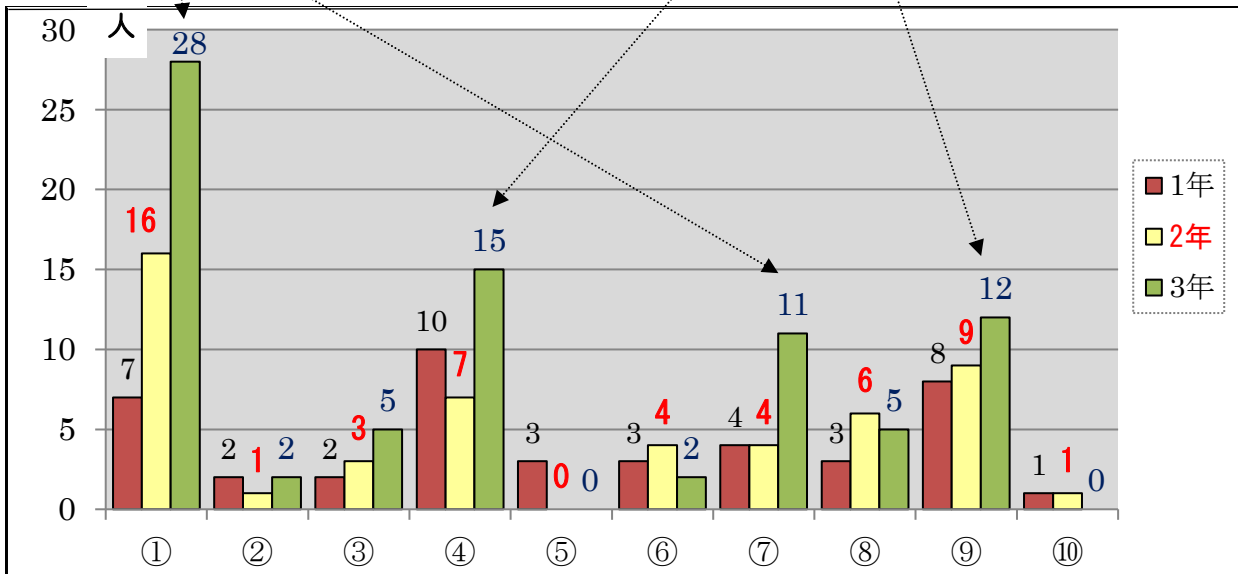
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい  
 ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の等の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

< 2校全体では >



<学年別の人数では>

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい  
 ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他



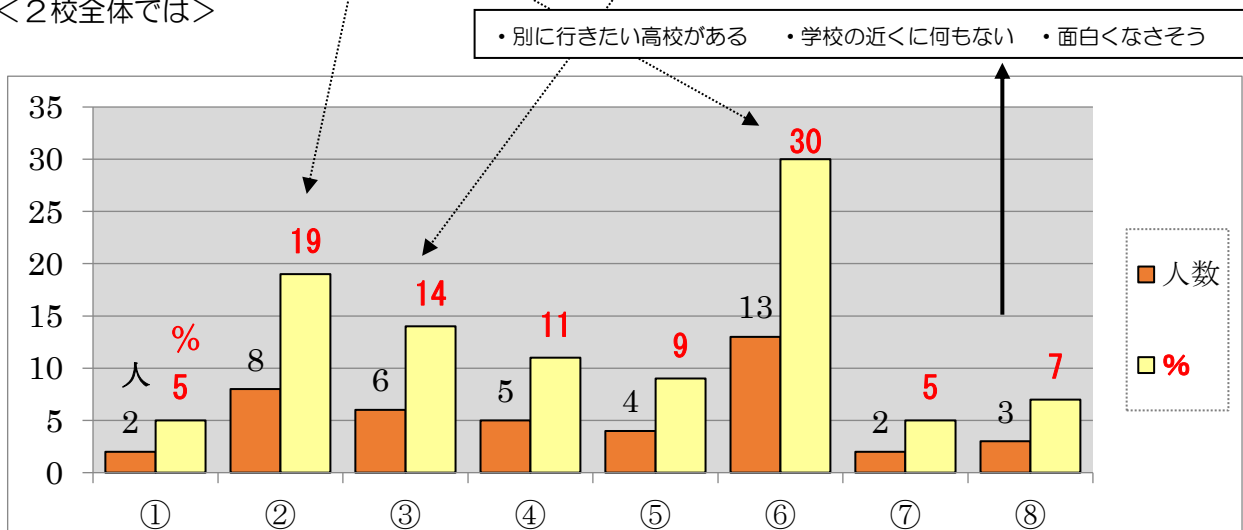
**考察** ・2校全体で多い順は、1位：① 通学に便利（29%）、2位：④ クラブ活動（18%）、3位：⑦ 友人関係（17%）、4位：町の支援（11%）である。

・学年別で特徴的なものとしては、概してどの項目においても3年生が多く選んでおり、油木高校の良さをより多くの生徒が感じている。これは、3年生が油木高校体験入学や学校説明会などを通して多方面にわたって油木高校の良さを感じているものと思われる。

(3) 3(1)の質問で「②（油木高校へ進学したいと） 思わない」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。（複数回答可）

- ① 通学が不便 ② 教育内容面 ③ クラブ活動面 ④ 施設設備面  
 ⑤ 希望の学科がない ⑥ 高卒後の進路面 ⑦ 友人関係 ⑧ その他

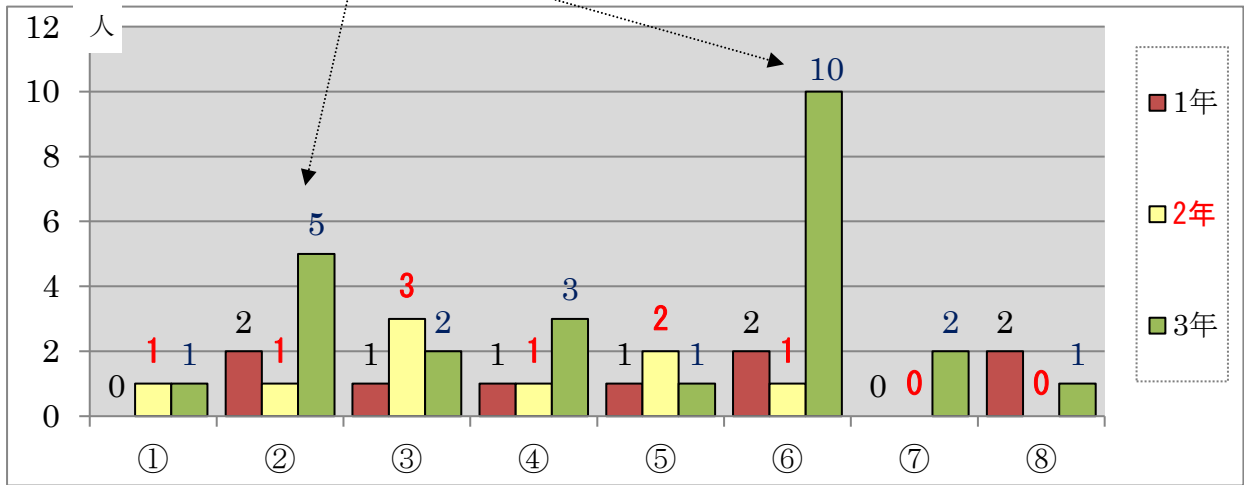
<2校全体では>





<学年別の人数では>

- |            |           |          |         |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便    | ② 教育内容面   | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係   | ⑧ その他   |



**考察** ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(30%)、2位：②「教育内容面」(19%) 3位：③「クラブ活動面」(14%)、となっており、例年とあまり差異はない。

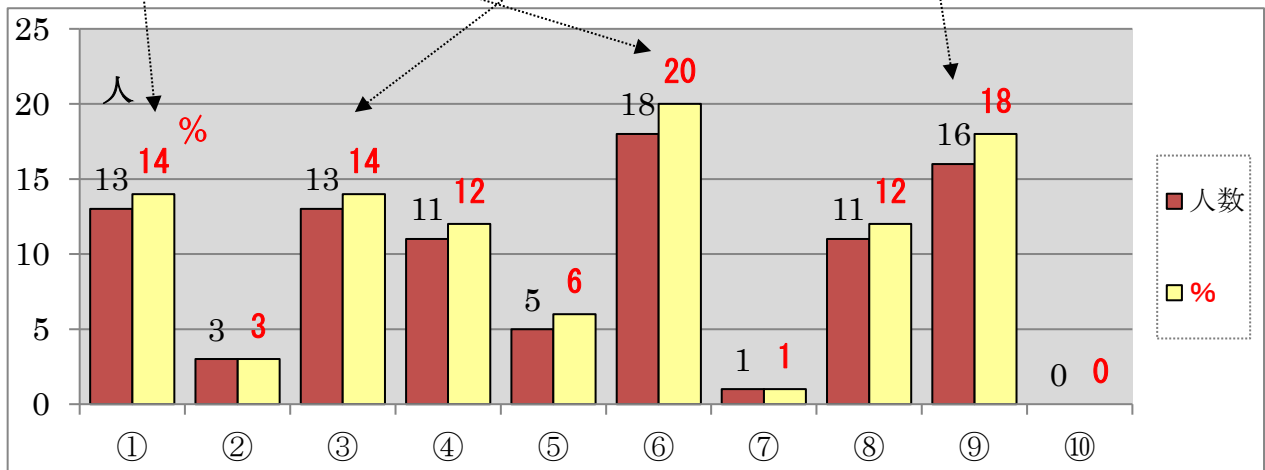
・例年のごとく本年度も「(油木高校へ進学したいと) 思わない」理由の中で、ダントツ⑥「高卒後の進路面」が多い。それだけに町内中学校での進路説明会時には、油木高校担当教員が「高卒後の進路面」に特化して説明する必要があるように思われる。また、「油木高校の進路指導や進路実績」を学校ホームページ上でしっかりと紹介していくことも必要である。

● 各中学校において、油木高校生（特に出身中学生）が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に語って頂いたり、直接高校生が中学生に話していく機会（例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など）が持てれば、大変効果があると思われる。←（高校は中学校へ随時しっかりと情報提供していく）

(4) 3(1)の質問で「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことはどんなことですか。下記の①～⑩の中から重要視したいものを2つ選び、番号で教えてください。

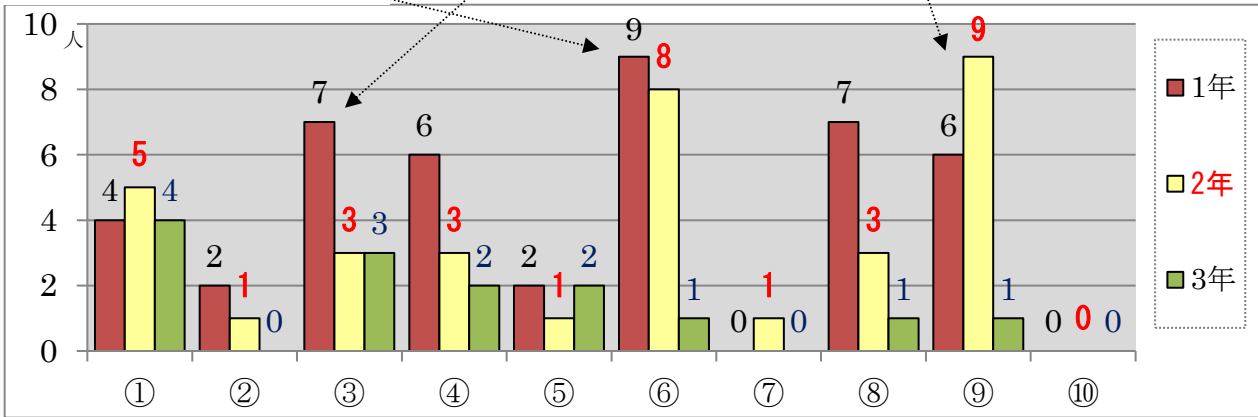
- |          |                |            |         |         |
|----------|----------------|------------|---------|---------|
| ① 通学便    | ② 伝統や校風        | ③ 進路実績     | ④ 教育内容面 | ⑤ 施設設備面 |
| ⑥ クラブ活動面 | ⑦ 市町からの色々な支援制度 | ⑧ 親や家族のすすめ | ⑨ 友人関係  | ⑩ その他   |

<2校全体では>



- ① 通学便      ② 伝統や校風      ③ 進路実績      ④ 教育内容面      ⑤ 施設設備面  
 ⑥ クラブ活動面      ⑦ 市町からの色々な支援制度      ⑧ 親や家族のすすめ      ⑨ 友人関係      ⑩ その他

<各学年別の人数では>

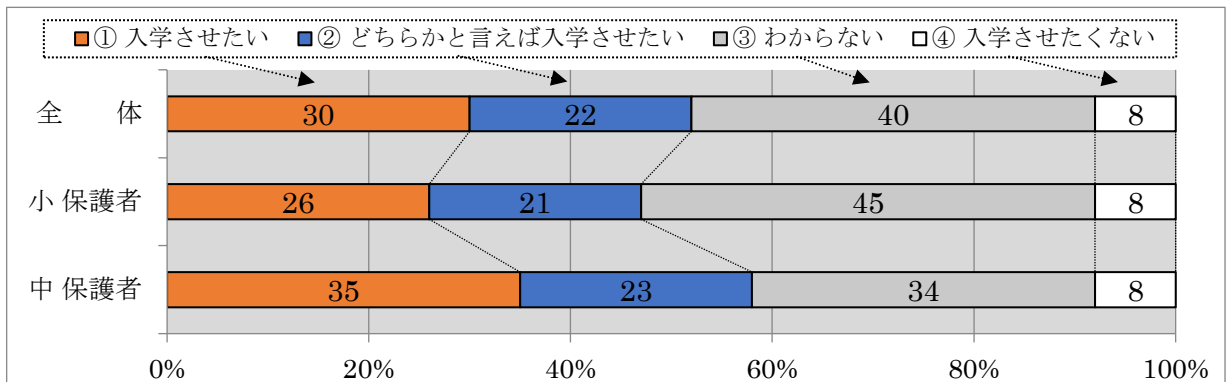


**考察** ・2校全体で多い順は、1位：⑥「クラブ活動面」(20%)、2位：⑨「友人関係」(18%)、3位：③「進路実績」(14%)となっており、例年と比較して多少順位は違うがあまり大差はない。

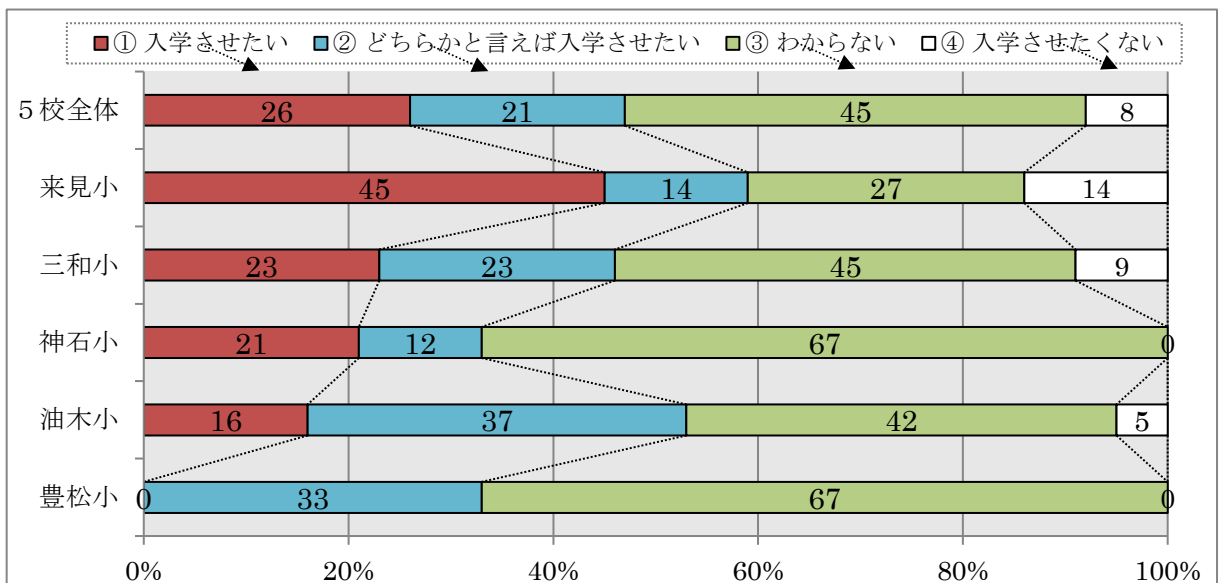
・各学年別に見たときの特徴としては、1年生・2年生は⑥「クラブ活動面」や⑨「友人関係」を多く上げているが、3年生は①「通学便」や③「進路実績」を多く上げていることが分かる。

### ● 小・中保護者

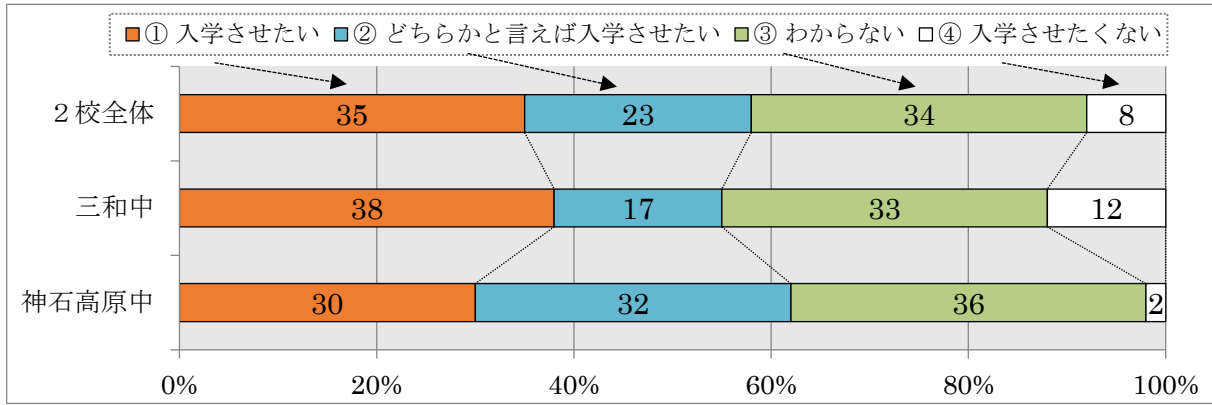
問 (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



<各小学校別では>



<各中学校別では>



**考察** ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は52%（昨年53%、一昨年53%）で、一方、「入学させたくない」は8%（昨年6%、一昨年8%）で、前年度とあまり大差はない。

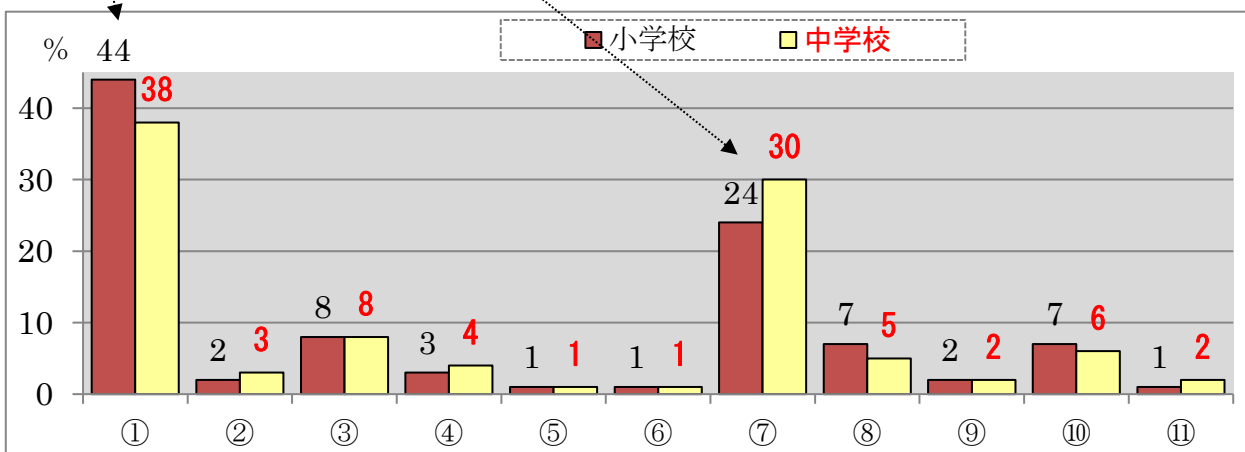
・小中学校別では、「入学させたい」は中学校が多く、「わからない」は小学校の方が多い。他は小中共に同じくらいである。これらは高校進学時期の年齢差からくるものと思われる。

・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が昨年度は4/5校であったが、本年度は2/5校（来見小学校59%、油木小学校53%）だった。

・中学校においては、両校とも「入学させたい」回答率は50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が30%台だけに、今後「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記(1)の質問で「① 入学させたい」or「② どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思ふものを下の中から選んでください。（複数回答可）

- ① 通学に便利      ② 進路実績      ③ 教育内容面      ④ クラブ活動面      ⑤ 寮がある
- ⑥ 施設設備がよい      ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）      ⑧ 学校や生徒の雰囲気
- ⑨ 家族等の薦め      ⑩ 友人関係      ⑪ その他



⑪ その他（小学校）

・長女が油木高卒のため

⑪ その他（中学校）

・産業ビジネス科なら通ってくれそう      ・本人の意志が強い      ・人間関係の不安があるため  
 ・長女が卒業生のため

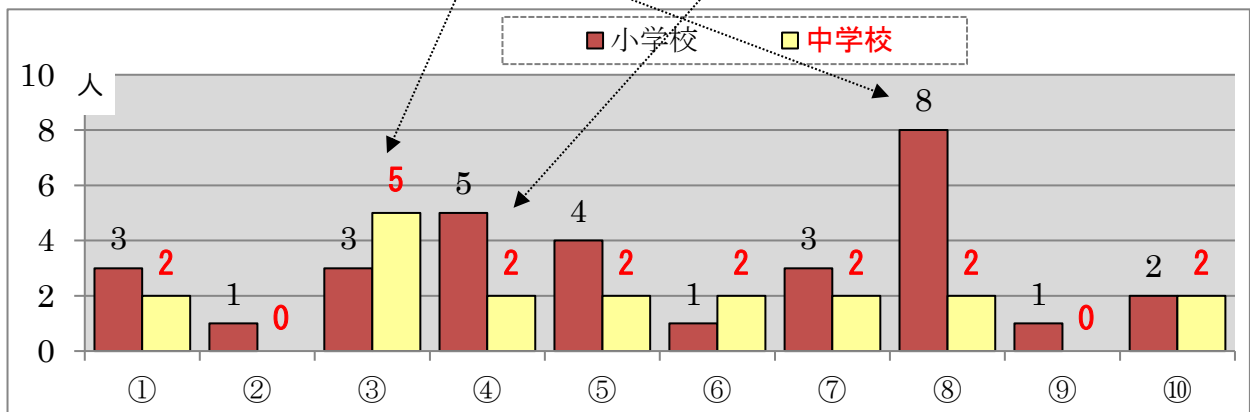
**考察** ・小学校と中学校を比較した時、ほとんど同じような傾向といえる。即ち、油木高校を選択する理由は、多いものとして、①「通学に便利」と⑦「町の支援」の二つが際立って多かった。

これらのことから、保護者に受け入れられている「町の支援」はできるだけ継続しながら、費用対効果が上がるように中身の充実を図っていかなければならない。また、「通学便」もかなり重要度が高いが、アンケートの回答の中で、「油木高校へ入学させたくない」理由（下の質問）として、バス便が少なくなったり、運賃の値上がりを不安視されている保護者が多かった。

これらのことから町としてできる支援策を今後においても検討しながら、油木高校の魅力アップにつなげていく必要がある。

(3) 上記 6(1) の質問で「④ 入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。下の中から最も重要視したいものを2つ選び、該当番号に○印をしてください。

- ① 通学の便    ② 伝統や校風    ③ 子ども本人の希望    ④ 学習環境面    ⑤ 教育内容面  
⑥ 施設設備面    ⑦ クラブ活動面    ⑧ 進路実績    ⑨ 経費面    ⑩ その他



⑩ その他 (小学校)

- ・バスが無くなってきている。バスも値上がりしていく。
- ・選択肢は多い方がよいから
- ・〇〇高校を予定しています。
- ・校則が法律のような学校。
- ・単位制なので

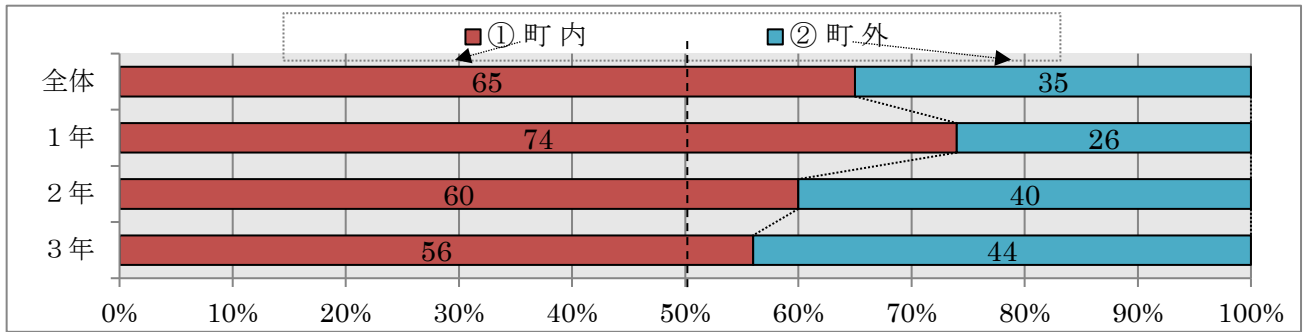
⑩ その他 (中学校)

- ・バス代が上がると聞いたので魅力をあまり感じない。
- ・選択肢は多い方がよいから
- ・バスがどんどん無くなっていくから (中バスが土曜日が廃止になっている便を復活させて欲しい。特に朝、土曜日部活に参加できない。
- ・R5 年 4 月、バス運賃が大幅に値上がりするのが非常に辛い。少しでも町から助成があれば助かるのですが。

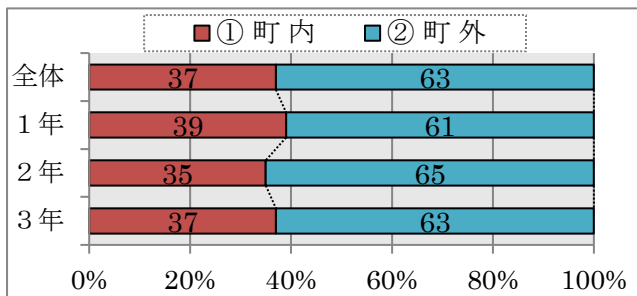
**考察** ・「油木高校へ入学させたくない」と答えられた方が高校進路選択をする上で、特に重要視したいものとして多いのは、小学校保護者ではダントツに多いのが ⑧「進路実績」で、一方、中学校保護者で最も多いのは ③「子ども本人の希望」で、その他はどの項目も極少数である。これらのことから、保護者の多くが「進路実績」や「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり、保護者へは油木高校の進路情報をしっかり提供したり、児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要と思われる。

● 高校生

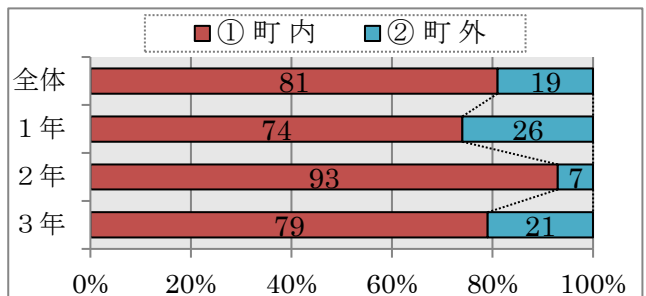
問 あなたの出身中学校は、どちらですか。 < 全体：学年別 >



< 学科別：産業ビジネス科 >



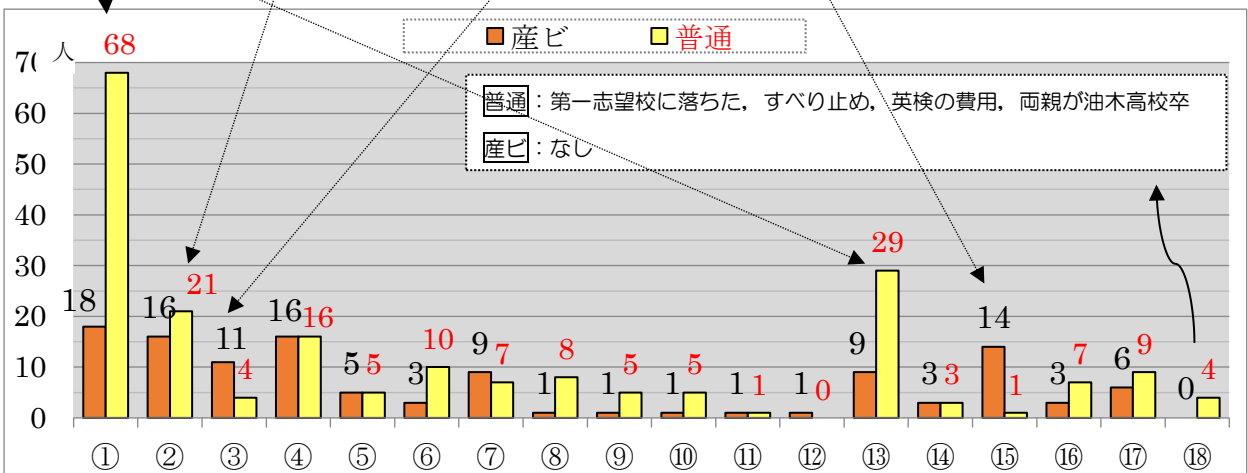
< 学科別：普通科 >



考察 ・ 全体的には、6.5対3.5で町内生徒が多いが、学科別でみると、産ビ科の町外生徒が63%と断然多い。しかし、中高一貫教育校になる前（H26年度以前）は、普通科への町外入学生徒はほとんどいなかったが、年によって数の増減はあるものの、本年度は1年生10人、2年生3人、3年生6人が通学している。

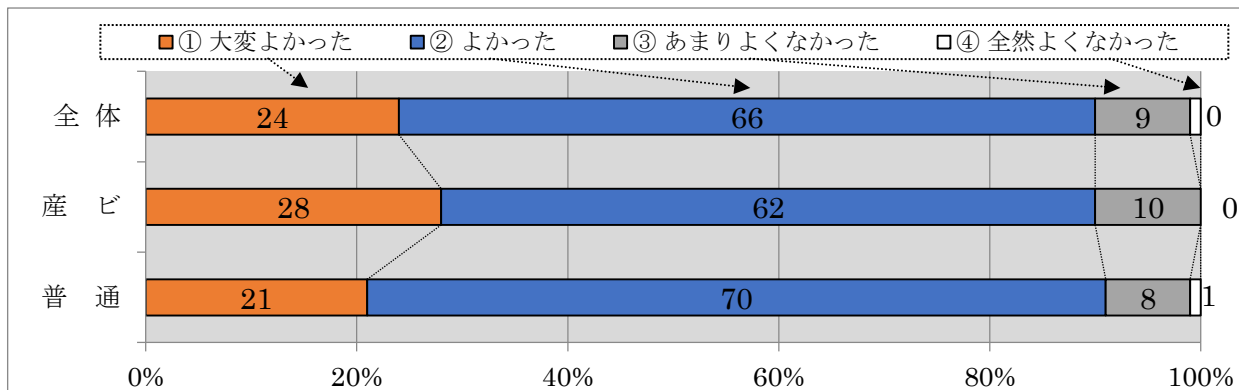
問 あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑱から該当するものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① 自宅から近い
- ② 親・家族の薦め
- ③ 先生の薦め
- ④ 自分の希望
- ⑤ 教育内容面
- ⑥ 部活動面
- ⑦ 寮がある
- ⑧ はやぶさ塾がある
- ⑨ 放課後神ゼミがある
- ⑩ 海外研修がある
- ⑪ 進路実績
- ⑫ 評判
- ⑬ 友人関係
- ⑭ 経費が安い
- ⑮ 学科への興味
- ⑯ 通学費の補助
- ⑰ 兄弟が通学している
- ⑱ その他（ ）



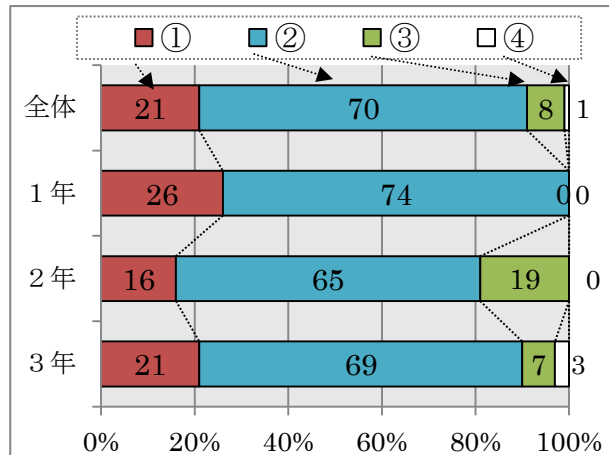
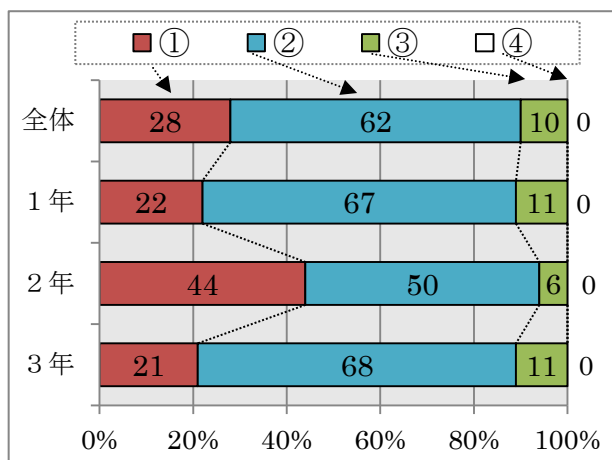
考察 ・ 全体的に多いのは、①「自宅から近い」や⑬「友人関係」、そして②「親・家族の薦め」であった。  
・ 学科ごとで特徴的なのは、普通科では①「自宅から近い」⑬「友人関係」、そして、⑧～⑩の町の具体的支援を選んだ生徒が産ビ科よりもかなり多く、産ビ科では⑮「学科への興味」③「先生の薦め」が普通科と比して多いのが特徴である。

問 あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



< 産業ビジネス科 >

< 普通科 >



**考察** ・全体では、例年と同様に多くの生徒（90%：昨年91%）が「よかった」と肯定的回答をしている。

・学科ごとでは、「大変よかった」とする者が、産ビ科全体で28%（昨年34%）、普通科は21%（昨年21%）であった。反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ科10%（昨年6%）、普通科9%（昨年11%）であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、普通科に1%（1人）であった。

・学年、学科ごとでは、1年生の普通科が肯定的回答「よかった」が100%であった。昨年度との経年比較でみると、産ビ科3年の肯定的回答は（昨年88%→89%）、同じく2年生は（昨年94%→94%）、一方、普通科3年生は（昨年91%→90%）、2年生は（89%→81%）という回答率であった。